

## 平成21年度技術士第二次試験問題【森林部門】

必須科目

10時～12時30分

Ⅱ 次の2問題のうち、1問題を選んで解答せよ。(解答問題番号を明記し、答案用紙3枚以内にまとめよ。)

Ⅱ-1 内閣府では、3～4年ごとに「森林に対する国民の期待に関する世論調査」を行っている。下記の図1、表1、表2を参考にして、国民の期待に応えるための森林の管理・整備方策について、あなたの意見を述べよ。

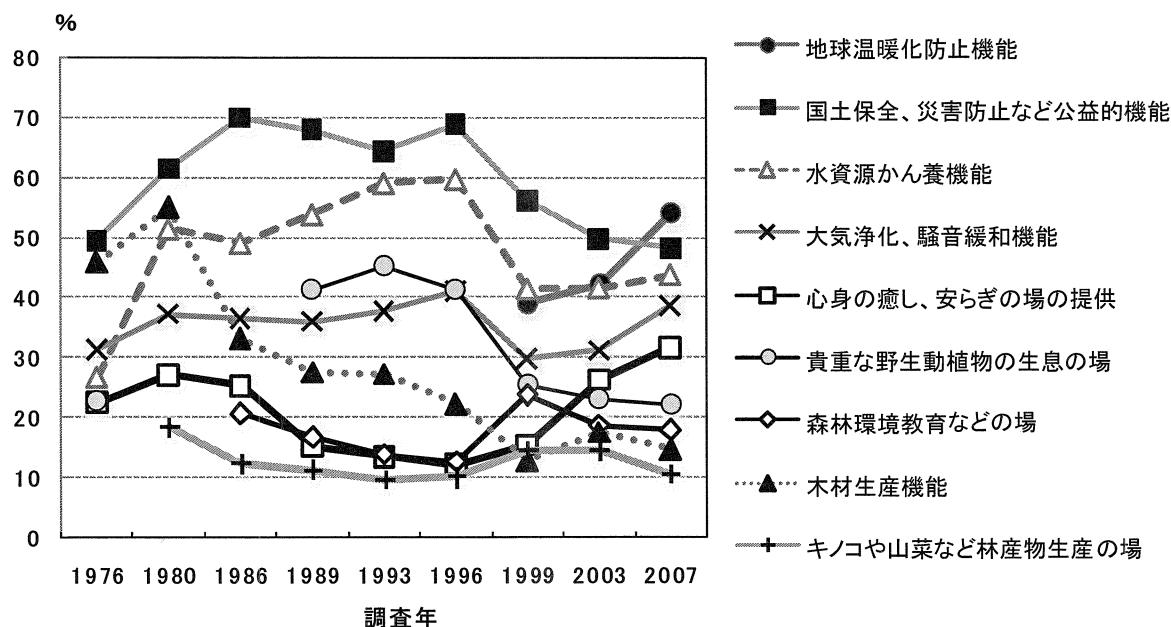


図1 森林に対する国民の期待の推移

(総務省、内閣府「森林に対する国民の期待に関する世論調査」より)

表1 森林の整備方法に関する回答

(内閣府「森林と生活に関する世論調査」(平成19年5月)より)

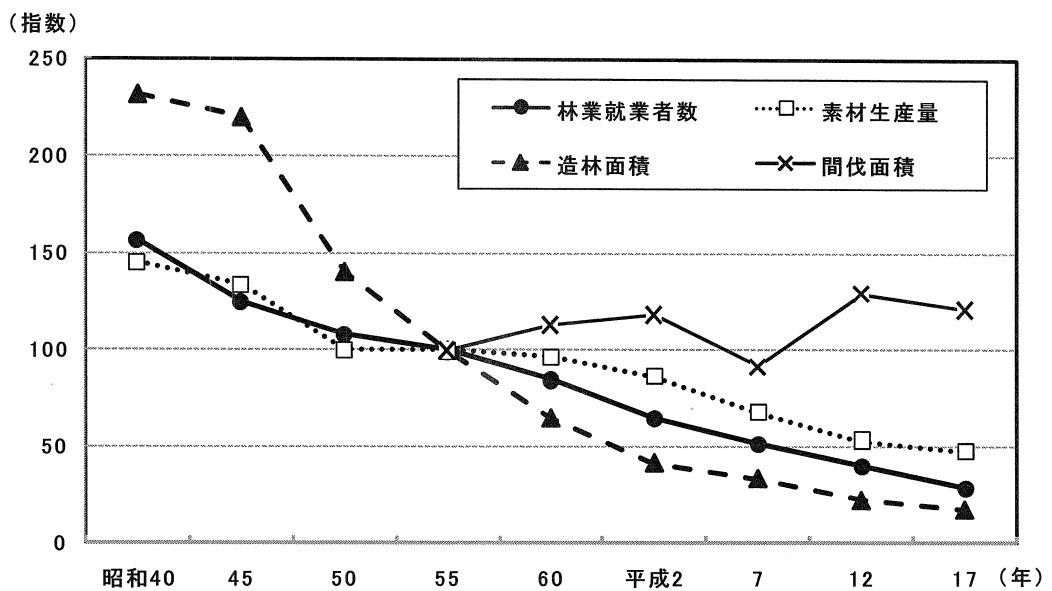
回 答 項 目	%
森林所有者に対し、適切に森林整備を行うことを義務づける	13.9
森林所有者が自らの責任において整備を行うよう行政が指導する	14.9
森林組合、NPO、ボランティア団体など意欲ある者が森林所有者に代わって整備する	27.2
森林所有者に対して補助金を交付するなどの支援をすることにより整備を促す	36.8
森林所有者の判断にまかせる	4.4
その他	0.4
わからない	2.4

表2 地域における森林整備の費用負担に関する回答

(内閣府「森林と生活に関する世論調査」(平成19年5月)より)

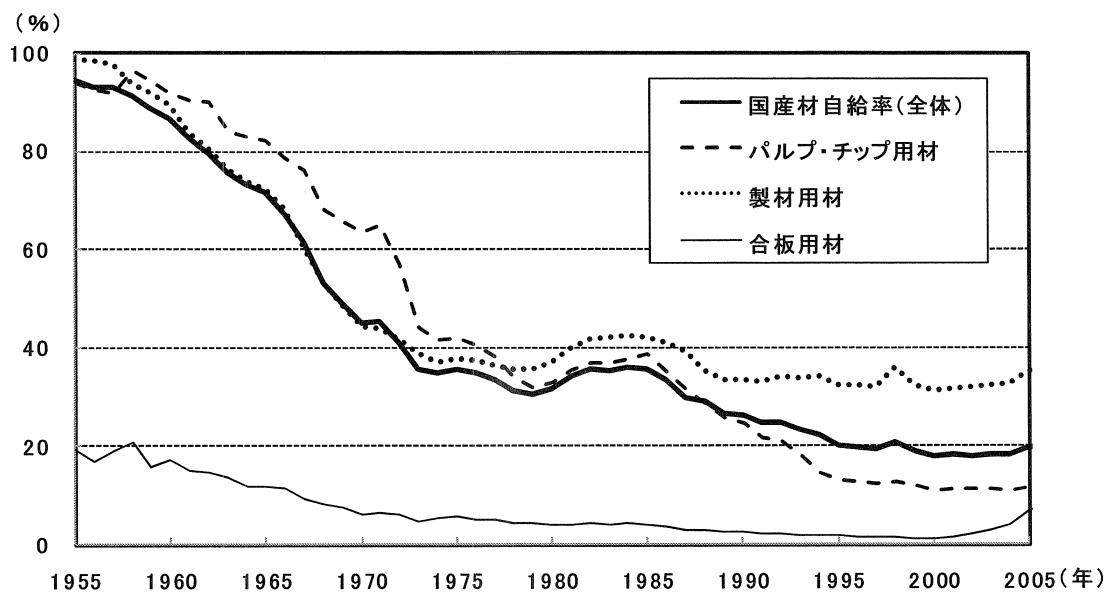
回 答 項 目	%
都道府県毎に住民などに幅広く課税して負担する	46.2
川の上流域の費用は、同じ川の下流域にある市町村等の地方公共団体が一部負担する	21.6
水道の使用量など利用の程度に応じて、利用している者が負担する	12.4
地域毎に費用を負担する必要はない	11.9
その他	2.0
わからない	5.9

II-2 次に示す図1及び図2を参考にして、我が国の林業に関する課題を多様な視点から抽出し、その対応策についてあなたの考えを述べよ。



資料：総務省「国税調査」、農林水産省「木材需給報告書」、林野庁業務資料  
注：昭和55年を100とした指数。ただし、間伐面積は昭和56年以降しかデータがないため、56年の値を100としている。

図1 林業就業者数、素材生産量、造林面積、間伐面積の推移  
(平成19年度森林・林業白書より)



資料：林野庁「木材需給表」

図2 国産材自給率の推移 (平成19年度森林・林業白書より)